



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学附属図書館かわらばん No.4

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-07-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京学芸大学附属図書館 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/00173417

東京学芸大学 附属図書館 **かわらばん**

No.4

Webサイトをリニューアルしました！

今回は、リニューアルしたサイトの6つのポイントを紹介します！

①開館カレンダー

右上に、本日の開館時間が表示されています。これからの開館時間を見たい方は、カレンダーのボタンをクリックしてください。

②各種申込

文献の取り寄せや、学生購入希望図書などの申込フォームは、こちらにまとまっています。

③グローバルメニュー

緑のバーに、図書館の利用案内やWeb上で見られる図書館のコンテンツなどがまとまっています。調べたい事柄があるときはまずこちらのメニューを見て、該当のページがあるかどうかご確認ください。

④蔵書検索

目立つ部分にある検索バーは、図書館の蔵書検索です！読みたい本のキーワードを入れて、そのまま検索してみてください。

⑤電子ジャーナル・電子ブック

本学で契約している、電子ジャーナル（Web上で読める論文）と電子ブック（電子書籍）が書名や雑誌名で検索できます。一部、学外からでも認証を通して利用できるものがあり、大学に来ることなく電子書籍やWeb上の論文を読むことができます。また、これらは、学芸大生であれば無料で利用できます。

⑥マイライブラリ

マイライブラリへログインし、ご自身の図書の貸出状況や返却期限などを確認できます。



このほかにも、図書館に寄せられるよくある質問（FAQリスト）や、図書の貸出、返却方法を動画で解説したコンテンツなども追加し、ホームページ上のコンテンツがさらに充実しました。「在宅利用できるサービス」のページでは、図書館に来館が難しい方でも利用可能なサービスや、役立つコンテンツを紹介しています。

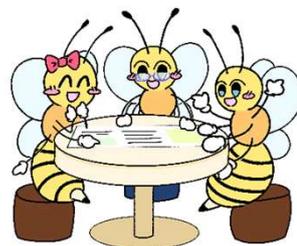
調査・研究にぜひお役立てください！

☆URLが変更になりました
新しい図書館HP：
<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>



図書館・教職大学院棟の増築工事が完了し、 増築部1階・2階が利用開始となりました

令和2年1月より開始していた図書館・教職大学院棟の増築工事が、令和3年5月末に完了しました。図書館部分は地下1階～2階を拡張しており、1階と2階は6月29日より利用開始しています。現在は、増築部地下1階に電動集密書架の設置作業を行っており、併せて資料の保管環境整備を進めています。新しくなった附属図書館をぜひ見に来てください。



「学芸大デジタル書架ギャラリー」でW受賞！

当館では、ウェブ上で教育学分野の書架を眺めることができる「学芸大デジタル書架ギャラリー」とその書架画像を用いた「3D書架」を公開しています。そして昨年度、これらの取り組みが以下の賞をW受賞しました！

・「教育LOD賞」(LODチャレンジ2020)

幅広い分野におけるオープンなデータづくりとデータを活用した取り組みを表彰するコンテストにおいて、書架画像のメタデータをLOD (Linked Open Data) という自由に再利用可能なオープンデータ形式で公開したデータセット「デジタル書架LOD」が受賞。

・「エクセレント・サービス賞」(電子出版アワード2020)

電子出版市場で特定の機能を実現し、アイデアが光るユニークなサービスに贈られる賞である「エクセレント・サービス賞」を受賞。

どちらも新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、本と人との出会いの場をオンラインで提供したことに対して高く評価されました。

参考：デジタル書架ギャラリー <https://lib.u-gakugei.ac.jp/mol/shoka>



オンラインでの学習支援業務を実施

2020年度秋学期の学習サポータの主な活動は次の4つです。

●学習サポータオンラインサポートデスク

Zoomでのオンライン相談およびメールでの相談受付を実施しました。秋学期は卒業論文関連の相談が多く寄せられました。

●学習サポータTips

在宅学習に役立つ情報シートを作成しました。学習サポータTipsは図書館ホームページにて提供中です。

⇒<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/sheets>

●展示企画準備

2021年度のラーニングコモンズリニューアルに向けて、メンバーによる展示企画の準備を行いました。

●学習サポータのおすすめ図書紹介

ブックログ(外部サービス)にて、学習サポータ作成の書評を掲載しました。

⇒<https://booklog.jp/users/gakugeilib>

2021年度からは活動内容を一部見直し、学芸大生が図書館を活用するサポートをしたり、図書館の資料を使った館内展示をしたり、図書館での活動を通して学び合い、創造し、情報発信を行っていく予定です。

くずし字で書かれた資料を読もう！ 翻刻してみよう！！

本学デジタルアーカイブ「学びと遊びの歴史」の江戸時代から明治時代の資料は、本文がくずし字で書かれているので、読むには現代の活字に置き換える翻刻(ほんこく)という作業が必要です。そこで、附属図書館は令和3年1月から、市民参加型のくずし字解読プロジェクト「みんなで翻刻」に参加し、プロジェクトによる本学資料の翻刻を開始しました。プロジェクトのページでは、翻刻された本文を読んだり、翻刻を体験することができます(参加者からの添削、AIによるくずし字認識システム等を利用できます)。ぜひ本文を読んで、翻刻して、数百年前の日本に触れてみてください。

東京学芸大学「学びと遊びの歴史」を翻刻！

(<https://honkoku.org/app/#/projects/gakuguei/info>)



「みんなで翻刻」

(<https://honkoku.org/>)



東京学芸大学附属図書館 ＜未来の先生支援＞古本募金を再開

古本募金は、読み終えた本をお売りいただき、その売却代金で学生のための本(図書館蔵書)を購入するプロジェクトです。

以前より、皆さまには古本募金にご協力いただいておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、昨年の秋まで古本募金の受付をストップしておりました。

昨年の秋より、「東京学芸大学附属図書館＜未来の先生支援＞古本募金」として、寄付事業を再開し、皆さまのご寄附を募っております。

未来の先生を育てるため、ぜひご支援・ご協力をお願いいたします。ご支援の方法については、下記のWebサイトをご覧ください。

Webサイト：

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/donation>





『コミュニティ・オブ・プラクティス：ナレッジ社会の新たな知識形態の実践』
エティエンヌ・ウェンガーほか著、野村恭彦監修
(翔泳社, 2002)
ISBN : 4798103438

大学生のみなさんなら、自主的なグループやチーム、コミュニティに何か参加しているに違いない。サークル、部活、自主ゼミ、ボランティアグループ、学習グループや研究チーム、同好の集まりなど…。自発的な参加をもとにした活動は、私たちに刺激や発見、成長、仲間とのつながり、居場所をもたらしてくれる大切なものであるだけでなく、学校や職場、地域を活性化させる効果もある。

一方で、自主的な集団だからこその難しさもある。活動のマンネリ化、メンバー間のモチベーションの温度差、負担や役割の偏り、参加・出席の多さや少なさ、リーダーへの不満などについて、どのように解決していくことができるだろうか。

こうした、あるテーマに関する関心や問題、熱意などを共有し、その分野の知識や技能を、持続的な相互交流を通じて深めていく人々の集団＝「コミュニティ・オブ・プラクティス(Community of Practice、実践コミュニティ)」を理解し、その成長・発達を支援していこうとする人に向けて本書は編まれた。コミュニティ育成の原則、発展の段階、メンバーの関わり方などについて詳しく記述されており、対等な関係で、人と人とを結び付けたり、関係を仲介する役割を担うコーディネーターについての記述も示唆に富んでいる。

ビジネス書として発刊されているが、良質な教育書であるとも言える。「こうすればこううまくいく」というハウツー本ではないが、コミュニティの成長を支援する理念・理論と実践とが総合的に示されているので、ぜひ自分のコミュニティと重ね合わせて読み、実践に役立ててほしい。

東京学芸大学附属国際中等教育学校 総合メディアセンター紹介

練馬区にある附属国際中等教育学校は、国立としては国内で初めて国際バカロレア (IB) 認定校となった学校です。本校の帰国生と海外教育経験者の滞在国数は68カ国にもおよび、多様なバックグラウンドをもつ生徒たちが在籍しています。このため総合メディアセンターでは、蔵書も日本語の他に、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国語の6か国語を所蔵し、今後は生徒の母語支援としてアジア圏の他言語も増やしていく予定です。館内ではIBのさまざまな探求型学習ができるよう、広く授業スペースに割かれ、1学年全員(約130名)でも授業ができます。このためコロナ禍以前は、連日館内でさまざまな教科の授業がおこなわれとても賑わっていました。ところでメディアセンターでは単に貸出しや自習の空間としてではなく、生徒や教員が主体的に展示や企画をもちこみ、さまざまな情報発信と共有ができる空間にしています。美術部は毎年2回絵画展をし、ボランティア部は被災地訪問の写真展をおこないました。さらに高2の有志が自閉症を理解するための企画展をおこなうなど、「多様性を認め合う」空間をコンセプトに、利用者参加型の図書館運営をおこなっています。



学年集会



館内授業保健体育



美術展



洋書コーナー

(文責：東京学芸大学附属国際中等教育学校
学校司書 渡邊有理子)



図書館かわらばん No.4
2021年 7月 28日 発行
東京学芸大学附属図書館
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
TEL:042-329-7223 FAX:042-329-7226
URL:<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>

東京学芸大学附属
図書館公式Twitter
では図書館に関わ
るお知らせについ
ていち早く発信し
ています。



www.twitter.com/gakugei_lib